

令和7年6月1日

日立理科クラブ通信

No.244



日立理科クラブ

ひたち科学探検少年団 入団式・プラスチック

5月11日(日)、科学探検少年団の入校式が日立市教育プラザで行われました。

日立市教育委員会生涯学習課根田課長からは、「職業探検少年団の活動を、未来の夢の第一歩にしてほしい」、日立理科クラブ瀧澤代表からは、理数アカデミーなど理科クラブの他の活動の紹介をすると共に、「ぜひ将来、社会に役立つような技術の開発に関わってほしい」と挨拶がありました。

団員一人一人の自己紹介もありました。皆元気よく、やる気が伝わってきました。瀧澤代表や来賓の根田課長と一緒に記念写真も撮りました。

本日の活動の開始です。テーマは「プラスチックの性質について」です。主な活動は、次の通りです。

- 実験1 プラスチックは電気を通すか
- 実験2 高吸水性プラスチック
- 実験3 プラスチックペンダントづくり
- 実験4 ペットボトルのラベルづくり
- 実験5 ペットボトルから繊維(せんい)を抽出

講義は、クイズ形式で進めていました。団員は興味深そうに図を見たり、話を聞いたりしていました。そして、クイズには積極的に反応していました。

実験1では、プラスチックは一般に電気を通さないことを、講師が行う実験で確かめました。

実験2では、高吸水性プラスチックに水を加えると、何倍もの水を吸収することを体験し、驚いていました。それに食塩を加えると、また、水になることを実験しました。ナメクジに塩を加えた場合と比べている受講生もいました。

実験3では、プラスチックペンダントづくりを通して、熱を加えるとプラスチックは変形することを体験しました。

実験4では、オリジナルのペットボトルラベルを楽しみました。熱によって形が変わることの理解を深めました。

最所は緊張気味だった団員も、実験などを通して次第に打ち解けてきて、休憩時間にも質問をするなど活発な活動になってきました。

本日の活動の締めくくりに、各自がつくったペンダントやペットボトルを持って記念写真を撮りました。最後に、二人の団員に、本日の活動の感想を聞きました。

- 最近、プラスチックが捨てられ、ゴミが多くなっている。ペットボトルを貧しい国に押しつけていることがあることを聞きびっくりした。
- プラスチックが散乱している動画を見て、僕も何かできないかと思った。

活動を通して、科学技術や環境問題への関心・知識を高めているようです。この後の活動が楽しみになってきました。



来賓と記念写真



実験2



実験3



実験5



オリジナルのペットボトルを持って